

令和5年度 一般選抜（C日程）における小論文出題意図

国際地域学部

1. 小論文問題作成の基本的な考え方について

新潟県立大学国際地域学部国際地域学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせて、本学科での学修にあたって欠かせない資質が総合的に備わっているかどうかを確認するための出題である。具体的には知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性が発揮されることを期待している。

2. 試験問題の内容および意図について

（内容）

政治の場における男女の不平等は、縮小に向かっている国が少なくない一方で、日本では解決の糸口すら見えていない問題の一つである。その問題を正面から扱っている著作から、根本的な原因の指摘であると同時に、具体的な提案を読み取ることもできる部分を取り上げた。

（意図）

設問一では、著者の指摘を本文に沿って説明することを求めている。解答するには、問題文を正確に読み、その論理を理解していることが不可欠で、おもに読解力を判定するための出題である。

設問二では、本文で丁寧に指摘されている問題点を認識したうえで、筆者の提示している解決のための方向性を理解し、それを明快に説明できるような、ある程度の長さの文章を、本文の論理に従って書くことを求めている。解答者の考えを問うてはいないが、自分なりの見解を合わせて書くことはさしつかえない。しかし、本文の論旨の理解が不十分であったり、個人的な経験や感情論だけに基づいて解答した場合などは、高く評価されないことは言うまでもない。